子ども

育てたい子ども像

●主体的に取り組む子ども

●自分も友達も大切にする

基本理念

●意欲的に遊ぶ子ども

主体性を育む 乳幼児教育の推進

~みんなでつながり

育む舞鶴の子ども~

舞鶴市乳幼児教育ビジョンの体系図

No.35

子育て環境と質の高

しやすく、 、私達が住む「ふるさと舞鶴」の未来を創造することにつながります。シリーズ市政の「今」。第35回は、子育て家族や地域にとってかけがえのないタカラモノである子ども達。本市の子ども達が充実した環境で育ち、学ぶこと 質の高い教育を目指したまちづくりについてお知らせします。

学童期、 福祉士、 悩みや相談にも保育士、 童虐待など、 に限らず、 れ目なく対応します。子育て 子どものさまざまな相談に切 妊娠期から出産期、 援基幹センター 0 育てられる環境づ 専門職員が総合的にサ 小学校課程6年間 中学校課程3年間 思春期、 安心して子どもを産 教員経験者など各分 小 小 小 小 小 小 中 中 中 非行や不登校、 子どもに関する 2 3 5 6 2 3 4 とも連携し、 18歳までの 中期 前期 後期 子育て期、 基礎・基本 基礎・基本 基礎・基本 社会 習得と定着 活用と応用 活用 児

な

子育て世代の交流と 豊かなあそび

い、つながり合うことができ中の親同士が親子で気軽に集中の親同士が親子で気軽に集会が減少し、子育て家庭の引 これら安心して子育てができ 供などに取り組んでいます。 遊びの場を提供しているほか さまざまな世 で子ども 「子育て交流施設あそびあむ」 る環境の充実を図るとともに、 か所で開設中。親と子どもの 育てに関する相談や情報提 "豊かなあそび_{*}の提供 「子育てひろば」を市内6 の成長にとって大切 人と 代の交流促進に 人が触れ合う 時期

育てたい子ども像 「乳幼児教育ビジョン」

市

の基礎が培われる最も大切な 期は、生涯にわたる人格形成 でも、0歳~就学前の乳幼児 までに 鶴市乳幼児教育ビジョン」 てたいこころ」を明示 大綱」を策定。 策の推進を図っています。中の充実」を基本理念とした施 での切れ目ない質の高い てるために「舞鶴市教育振興 さと舞鶴を愛 成28年3月に策定しま 将来を切り では平成27 。この乳幼児期の終わ 「育てたい力」 い質の高い教育 年8 夢に向 どもを育 月 した B かふ 舞 を ŋ

など、 学びや育ちの土台づくりを進 な遊びや生活、 取り組みや保幼小連携の研修育・教育の質の向上に向けた を地域全体で支援しています。 発達段階に応 ども達の健やかな成 体験を通じて じた豊か

乳幼児教育の拠点園として

してきました。 これらのニーズ 援施策に関わる環境も多様化 園と西乳児保育所の機能を集 老朽化が著しくなった舞鶴幼稚 に的確に対応するため、 援新制度の施行など、子育て支 充実を掲げる子ども・ 行に伴う保護者の保育に対する ニーズの変化、保育の量・質の 少子高齢化や核家族化の進 子育て支 施設の

▲市内全ての中学校で実施した市長のふるさと ▲7月4日に開設した子どもなんでも相談窓口

子ども相談の総合窓口 月 4 から子ども・

を集約

した「子ども

なんでも

てに関する相談と支援の窓口

相談窓口」を中総合会館に開

保健センターや子育て支

い中立会

る

修業年限 学年区分 教育区分



小中一貫教育の教育区分

育てたいこころ

育てたい力

主体的・意欲的な自分 ◇自己決定力 ◇自己表現力

たし」友達や集団の中の主体的・意欲的な自分

◇コミュニケーション力 ◇協同する力(社会性)

●「ぼく、わたし」

◇自己調整力

●安心感●達成感●自己有能感 ●信頼感 ●自己肯定感 ●自己有用感







乳幼児教育の推進

《(仮称)舞鶴こども園》

保育所と幼稚園の機能を併せも つ施設。乳幼児教育の研究・実 践とセーフティーネット機能

《乳幼児教育センター》 乳幼児教育ビジョンの推進、市 全体の乳幼児教育の質向上に向 けた取り組みの拠点施設

市全体の保育所・幼稚園や地域・家庭のパートナーとして、 さらに質の高い乳幼児教育を推進

"子育てしやすいまち舞鶴" "乳幼児教育のまち舞鶴" 実現へ寄与

枠を越え、

乳幼児教育全体の質

をさらに向上させていきます

保育所・幼稚園といった園種の

ンターを併設し、

公立·民間

●舞鶴で、出会い・産み・育てる(自然減の抑制) ●舞鶴に、留まる・帰ってくる・入ってくる(社会減の抑制)

地方創生

平成28年度から城北中学校

●舞鶴を、活力ある地域にする(経済規模の拡大)

のサポー

トを行う乳幼児教育セ

情報発信など、各園・校の活動

保育者・教員などの研修の開催

また、保幼小中連携の推進や

に開設予定。

舞鶴こども園」を平成30年4月教育・保育の提供を行う「(仮称)

る教育 切れ目ない教育と夢をかなえ

ので、 として、 を深める活動を行うことで、 児童・生徒が互いに連携・交流 徒の発達段階に応じた一貫性の 各中学校区で教職員が一体とな 中学校区で導入することを目指 課程のシームレス化(切れ目な 系統的かつ継続的な「義務教育 3年間の義務教育9年間を見通 区と加佐中学校区をモデル校区 ある学習指導と生徒指導を行い しています。小中一貫教育では、 い)」を図る教育活動を行う した「小中一貫教育」をスター 教育目標を定め、 小学校と中学校が協働して 平成30年度までに市 小学校6年間と中学校 これまで以上に 児童・生 $\dot{\mathbf{b}}$

> 実な育成に努めていきますンスのとれた『生きる力』 体 (健康や体 力 0) のバ (11 確 ラ

向上に向けた支援を充実させ指導助手を設置するなど学力するため、小・中学校へ英語とができる児童・生徒を育成 置、今後さらに進展するグロー行う「学習サポーター」の配 ※~に関連記事)。 応じたきめ細かな学習指導を ための支援を行う ていきます。 ンジサポー ル社会を力強く生き抜くこ また、生徒が夢を実現する ト事業」や個々に 「夢チャ

市長の 「ふるさと講義」

ているまちの魅力などを市長自どで今後さらに発展しようとし 働く場があり、 市の豊かな自然・文化、 に夢を持つことの大切さや舞鶴 「ふるさと講義」を実施。 ち、 の全中学校の2年生を中心に ら生徒たちに語りかけました。 多々見市長が昨年度から市内 子ども達が善悪の判断を持 交通網の充実な 多くの 将来

鶴」を愛し、夢に向かって将 立」を兼ね備え、 社会に貢献し力強く生きる「自 に今後も努めていきます 来を切り拓く子ども達の 自らを律する「自律」 「ふるさと舞 育成

MAIZURU 2016-10